

今回は点眼剤についてのお話です

結膜炎や緑内障では点眼剤による治療が行われます。今回は正しい点眼方法、点眼剤を使用する際の注意点についてのお話です。

【点眼液の点眼方法】

1. 手を石鹸でよく洗って下さい。



点眼剤への細菌の進入を防ぐために手を石鹸でよく洗いましょう。細菌に汚染された点眼剤を使用すると角膜潰瘍を起こすこともあります。

2. 下まぶたを軽く引き、1~2滴を確実に点眼します（2~3滴の場合もありますので、医師または薬剤師の指示に従ってください）。このとき、容器の先がまぶたやまつげに触れないように注意しましょう。



点眼剤への細菌の進入を防ぐために、容器の先がまぶたやまつげに触れないように注意が必要です。

3. 点眼後は静かにまぶたを閉じて、まばたきをしないで約1~5分間、目をつぶって下さい。



点眼直後に何回もまばたきをしたり、目を閉じてまぶたの上を指でマッサージすると点眼剤の目からの排出を早めてしまい効果が弱まる場合があります。

4. あふれた点眼液は清潔なガーゼやティッシュで拭き取って下さい。



目からあふれた液はそのままにしておくと皮膚に炎症を起こす場合があります。

【眼軟膏の点眼方法】

1. 手を石鹸でよく洗い、チューブの先を清潔なガーゼかティッシュで拭いて下さい。
2. 鏡を見ながら、下まぶたを軽く引き、チューブの先がまぶたやまつげ、眼球に触れないように注意しながら、チューブを少し押し下まぶたに薬をつけます。
3. まぶたを閉じ、軽くマッサージしてください。強く押さえないように注意しましょう。
4. チューブの先を清潔なガーゼやティッシュで拭き、ふたをしてください。



【点眼剤の保管方法】

- ・ 「冷暗所保存（冷凍室には入れない）」などの指示がある場合はそれに従い、特に注意がなくても直射日光を避け、なるべく涼しいところに保管してください。

- ・ 点眼後はしっかりふたをして、袋（投薬袋など）に入れて不潔にならないように注意して下さい。
- ・ 救急箱に保管する場合は開封した湿布薬と一緒に保管しないでください。
- ・ 幼児が誤って飲むと危険なことも多いので幼児の手の届かないところに保管してください。

【小児への点眼方法】

点眼方法 お子さんを寝かせてお腹の上にまたがり、両足（太股）で頭部まで固定



して点眼してください。

点眼方法 お子さんを寝かせて脇に足を伸ばし、頭を押さえて点眼してください。



点眼時に目をつぶってしまうお子さんの場合、目のまわりを拭いてから、目頭付近に点眼します。まばたきをさせると目薬が目の中に入っていきます。また、寝ている間に点眼するののも一つの方法です。



涙で目薬が流されますので、お子さんが泣いている最中は点眼を避けてください。また、点眼時にお子さんが動き、容器の先で目を傷つけないように気をつけましょう。

【点眼時の注意事項】

- ・ 懸濁型の点眼剤（にごっている点眼剤）はよく振ってから使用してください。
- ・ 用時溶解型の点眼剤（使うときに薬の成分を溶かして使う点眼剤）は溶解時に振って溶かしてから使用してください。
- ・ 点眼剤が2種類以上ある場合は、後の点眼剤は5分程度あけて点眼しましょう。
- ・ 用法・用量をまもって点眼してください。